

学校の教育目標 「ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」
学校経営ビジョン 「変化の激しい社会を、たくましく生き抜くための学力や生活習慣を身に付けた生徒の育成をめざす。また、串間市小中高一貫教育と連携型中高一貫教育への取組を通して、郷土愛をはぐくむとともに、人生の目標や夢をもって、地域に貢献できる人材の育成に努める。」

	評価項目	各部	計画	【方策・手立て】 計画項目	数値目標	結果	生徒 評価	保護者 評価	達成状況(成果…○ 課題…△) 改善方策(★)	評価	学校運営協議会評価委員のコメント	評価
ビジョン 実現 のため の重 点目 標	①望ましい学習態度を身に付けた生徒の育成 ・基本的な学習習慣 (1前着席 30秒前 黙想・返事・反応)の 確立	進路	1分前着席・30秒前黙 想・返事・反応の徹底	学期1回に学習 態度コンクールの 実施	点検による評価平 均 3.3 以上 (4段階評価)	3			○計4回、学習態度コンクールを実施。委員会活 動が少しづつ機能し始め、生徒たちの意識の向 上が見られた。 △日常の着席黙想の徹底・見届け 【コンクール結果】 ★1年(3.2)2年(3.0)3年(3.4)	3	○ほぼ目標通りである。	3
	企画	少人数指導(英語・数学) の個に応じた指導の充実	学期1回の生徒 に対するアンケート を実施	生徒アンケートに よる評価 平均3以上	4			【アンケート結果】※1学期のみ2,3年 1学期=4…48.0% 3…38.3% 2学期=4…40.9% 3…46.0% ○少人数指導に対して、肯定的な評価(4・3評 価)をする生徒が多く、少人数に分けることで授 業に主体的に参加したり、積極的に発表したり できている。	4	○少人数指導に肯定的評価をする生徒 が多く、主体的な学習につながっていると 推察できる。この成果が学力向上につな がっていくことを大いに期待した。 ○個に応じた指導の成果が評価できる。	4	
												企画
	企画	読解力を身に付ける授業 の実施	読解力を高める ための問題作成 の研修	読解力問題の6 割の正答率	2	3	3	○読解力を高めるための問題を出題した 教科もあった。	2	○高校でも一読で理解できる力「速読」 が必要とされます。何か良い手立てがあ るとよいですね。 ○さらに具体的な実践を期待したい。	2	

												○読解力を高めるための問題づくりを努力して欲しい。 ○読解力を高めると平均点も上がると思います。		
			学力分析・研修の実施	夏季休業中・冬季休業中の研修	県平均	3				○全国学力学習状況調査・みやぎ学力調査等の分析を行い各教科・各学年で対応した。	3	○分析の効果を期待したい。	3	
	③学ぶことに対する意識の高揚	教務	年間計画の作成と確実な実施による学力の向上	年間計画の作成	年間指導計画の作成100%	3				○4月中に全教科、昨年度の見直しをして、作成することができた。	3	○年間の指導計画が大切だと思います。4月の準備をお願いします。	3	
		教務	計画的な授業計画による学力の向上	授業時数の確保・行事の精選	各教科の授業時数確保100%	3				○確保できている。3学期に教科の学級における不足数を補充した。	3	○授業時数の確保をお願いします。	3	
		進路	朝の読書活動や図書室利用の推進	昨年度より朝読書の実施・図書委員会の活用	全校で月1000冊の読書	3				1学期… 図書館 (全学年合計)754冊 読書通帳 …1年(2101冊)2年(1483冊)3年(837冊) 2学期… 図書館 (全学年合計)1553冊(12216人)1年生710冊(520人)2年生498冊(396人)3年生345冊(305人)※メクビットを実施した朝自習 ○11月に多読賞コンクールを実施 ★来館者が増える取組を継続実施	3	●月あたりの冊数が不明。 ○読書数を学期に変更すること等検討してはどうか。 ●3年生の読書量が少ないのはなぜか知りたい。	3	
		教育環境	備品の計画購入	定期的な在庫のチェックと購入	常時	3				○定期的な在庫チェックと購入を行っている。 △想定外の使用による在庫切れが今後の課題である。	3	○予算内での備品の購入が大変でしょうが、在庫切れ等がないような工夫をお願いします。	3	
		教育環境	学校備品の整備・点検	教科主任による備品点検の実施	年1回	3				○教科主任と協力し備品点検を行った。	3	○備品がそろっていることを確認するのは大変でしょうが、よろしく願いいたします。	3	
ビジョン実現のための重点目標	豊かな心の育成		④身なりと心を鍛えさわやかなあいさつができる生徒の育成「あおいドア」の推進と身だしなみの指導や時間を守らせる指導の徹底	生徒指導	あいさつに関わる取り組み(あおいドアの推進)	年間を通して、あおいドア推進に関する取組を実施	常時	3	4	4	○月・水・金の朝、生徒会執行部が校門に立ちあいさつ運動を実施している。また、教育の日に合わせて地域の方々のあいさつ運動も大変心強い。人と会わずにコミュニティができたり、仕事ができたりする時代。あいさつはアナログかもしれないが大切にしていきたい。	3	○地域の方々の協力はありがたい。 ○日常的なあいさつはしっかりできているような気がする。校外での様子はよくわからないが、よくあいさつしている話は聞くことが多い。 ○あいさつは、物事の基本であるので、継続して欲しい。 ○あいさつは大変いいと思います。学校に出かけるとどの生徒もよくあいさつをしてくれます。	4
			⑤奉仕的精神の育成 ・学習環境、生活環境の整備 ・ボランティア活動の推進	保健体育	インターアクト部(中高連携)の取組	高校担当との連携	中高連携により年3回以上の実施	3				○週1回程度清掃や学校のための活動に取り組んでいる。 ○図書館まつりボランティアを合同で行った。	3	○高校との連携も軌道にのっており、主体的によくやられている。 ○ボランティア活動には、どんどん参加してください。

⑥ 思いやりの心の育成・ 道徳・人権・特別支援の 充実 ・コミュニケーション能力 や社会性を高める指導の 徹底	進路	学習環境の整備	文化放送委員会 を活用し、掲示物 の点検を行い整 備を充実する	教室や廊下の掲示 物の定期的な点検を 2か月に1回実施	4			○文化放送委員会が、2か月に1回掲示物 点検を実施。インターアクト部のサポート も得ながら、学期1回の張り替え・点検作 業を行った。 △引き続き、定期的なチェックを行う。	4	○掲示物の整理など大変でしょうがよろし くお願いします。	4	
		生徒 指導	1分前着席、30秒前黙想 の徹底(長期休業明け)	生徒指導主事や 学年主任による 点検	1分前着席10 0%	3			○1・2学期は5時間目の開始時に課題 があったものの、予鈴を鳴らす時間を早 めたり、教師たちの指導を積極的に実施 したりすることにより改善しつつある。	3	○先生方の努力に期待したい。	3
			遅刻者点検	朝の校門指導を 行い、遅刻者へ の指導	遅刻者10%以下	3			○昨年度よりも改善傾向にある。7:55 ギリギリや、やや遅れる生徒はいるもの の、ごくわずかである。	3	●遅刻の原因はなんでしょう。	3
	生徒 指導	容儀点検	定期的な検査	再点検率10%以下	2			△校則の改善にともない、改善を図る指 導が難しい場面がある。	2	○校則の見直しは、生徒の声を聴きなが ら、改善していくことが大切ですね。 ○時代の流れもあるのでしょうか？串間 市のみで考えるのにも限界があるのもし れません。 ○過渡期として苦勞も少なくないと思うが 守るべきは守るという指導も大切。 ●現在の校則に従って指導すべき。	3	
		いじめアンケート	いじめアンケートの 毎月実施、自宅で 記入させる 自己解決能力の 向上を図る	いじめ認知件数0 の月(前年度3 回)を増やす	2			△なぜ、いじめ事案が起こるのか、教職員や家庭 に問題提起をしていきたい。自尊感情を高める 指導、思いやりの心を育てる指導、規範意識の向 上が根本的な力ではないか。 ○2月のみ認知検証0であった。	2	○高校でも、生徒間のトラブルがありま す。小さな世界で生きているので他校と の交流・中高連携・地域との連携など縦・ 横・斜めの関係を深めることが大切で すね。 ●なぜ、いじめ事案が起きるのかを大切 にしていきたい。 ○小さなことも見逃さないという姿勢こそ が大事である。そういう意味で「0の月」が 難しいことの意味は、大きい。その中身が 大切。 ○いじめる生徒へ背景も理解し、被害を 少なくして欲しい。 ○いじめ問題は非常に大事です。気長く 指導してください。	2	
		教育相談	学期に1回、生活 面や学習面、進 路面	学期1回	4			○学期に1回、十分な時間を確保した。 △本当に大切なのは教育相談の時間では なく日々の関わりだと感じる。	4	○日々の関わりが大切。その通りだと思 う。生徒としっかり向き合える日常的な時 間とゆとりの確保を期待したい。さまざま な工夫をされている中学校の取組に敬意 を表したい。 ●相談の実績を知りたい。	4	

				生活委員会と連携し本校独自のポジティブワードを設定し雰囲気明るくする	常時	3			○生徒会執行部を中心に推進する活動を実践している。 △ワードを覚えることが目標ではなく、ワードが自然と出てくるような心の育成が必要だと感じる。	3	○明るい雰囲気での学校生活がおくれる努力をお願いいたします。	3
			進路	各学年道徳担当を中心に学期1回以上実施するように年間計画を作成する	内容項目「思いやり」の授業を学期1回以上実施	3	4	4	○「思いやり」の項目も含め、各学年で計画的に授業を展開できた。 ★授業の内容を日常の学校生活につなげながら、常時指導を行う。	3	○道徳教育がはじめ対策にもなると思います。十分な指導をお願いします。	3
			進路	人権教育担当を中心に学期1回実施するように計画する	人権教育に関する取組を学期1回実施	4			○いのちの教育週間に伴う授業を全校で一斉に行ったり、人権標語作成をして人権集会を開いたりなど、人権感覚を高める取り組みを多く行った。 ○西原さつき氏による人権講演会を企画し、全校生徒で講演会に参加した。	4	○大切なことを計画的に行っている。 ○意義深い取組であったと思う。 ○人権教育ははじめ対策につながると考えられるので、期待できる。	4
				特別支援教育コーディネーターを中心に研修を実施	特別支援教育に関する職員研修を学期1回実施	4			○年度当初/夏季休業中/冬季休業中の研修にて計3回実施した。 △支援を要する生徒についての報・連・相を職員及び各家庭に対しても丁寧に迅速に行う。	4	○「助けてほしい」など、支援を必要とする生徒と保護者の支援をよろしく申し上げます。	4
ビジョン実現のための重点目標	豊かな心の育成	⑥思いやりの心の育成・道徳・人権・特別支援の充実 ・コミュニケーション能力や社会性を高める指導の徹底	進路	コミュニケーション能力や社会性を高める指導の徹底	授業における話し合い・学び合い活動の充実を図りアンケートを実施	アンケートによる評価 平均3以上	4		【アンケート結果】 1学期=4…46.0% 3…44.8% 2学期=4…46.2% 3…43.9% ○肯定的な意見が多かった。 ★職員がICTを意識した授業を実践していく中で、効果的に話し合いや学び合い活動をしていく意識が必要。	4	○目標の平均3以上の評価を超えているので充実していると思います。継続して指導をお願いします。	4
			教務	道徳教育時数確保	道徳授業時数の確保	道徳授業時数の確保100%	4		○学年・学級担任の協力で、毎週1回の授業を確実に実施することができた。	4	○計画通りに道徳教育をお願いします。	4
				道徳研修の充実	長期休業の研修を実施	道徳研修年2回以上	2		○冬季休業中の1回の実施でした。 ○学期1回はできるように次年度は計画していきたい。	2	○道徳ははじめ対策につながると期待しています。	2
	健康と体力の向上	⑦体力向上プランを基に体力の向上を図る ・体力テストの計画的な実施と結果の活用	保体安全	スキルアップトレーニングの改善・工夫・実施	授業に応じたスキルアップトレーニングの実施	県平均を下回る種目の県平均達成	2		○昨年より県平均を下回る種目は減少(男子9→5、女子8→1)。 △5段階評価のD、E層は男子は減少(21.8%→20.8%)、女子は増加(1.2%→20.8%)。 ★スキルアップトレーニングを計画的に取り組んでいく。	2	○体力向上は家庭の努力も必要であると思う。 ○近頃の子どもは外で遊ぶ時間が少ないと思えます。そのあたりも平均を下回る要因ではないでしょうか。	2
			保体安全	⑧部活動の充実と活性化を図り「たくましさ」の育成を図る	計画的な部活動の運営	合同練習会の実施	中高連携ができる部活動は年3回以上の実施	3		○1学期に中高合同顧問会を実施。 ○バドミントン部、男子バスケットボール部、インターアクト部が合同練習を実	3	○様々な取組や工夫が行われ、その成果が表れていると思う。 ○指導者の努力の成果であると思う。

		・計画的な部活動の運営 ・保護者会との協力体制の確保								施。男子バスケットボール部は9年ぶりぐらいに県大会出場。		○合同練習はどんどん取り組んでいきたい。	
					・部顧問会の実施 ・キャプテン会の実施 ・活動計画の作成 ・学期1回のアンケート	・生徒満足度80%以上	3			○生徒の満足度(①91%②95.7) △1・2学期にキャプテン会を実施ができなかった。 ★3学期にキャプテン会実施予定。	3	○自分の部活動に満足できている生徒が多いことは、先生方のご指導のおかげだと思います。	3
			教育環境	部活動補助金や大会補助金の適切な申請	PTA や串間市と連携して部活動がしやすい体制を図る		3			○大会終了後の補助金申請はほぼ終了した。 △補助金申請の遅い部があるので早めの執行依頼をさらに進める必要がある。	3	○部活動のやりやすい環境づくりを、これからもお願いします。	3
	⑨健康安全教育や食育の推進	生徒指導		自転車2重ロックの徹底	毎月26日前後に生活委員会で点検を実施する	2重ロック100%	3			○100%にはなっていないが、常に90%以上は達成できている。 △物の管理、規範意識の向上につなげていきたい。	3	○90%以上というのは、先生方の努力の成果であると思う。	4
				自力登校の推進	2重ロック点検日に自転車登校率を把握する。	自転車利用率80%以上	3	3	4	○常時80%前後であり、雨天時でも50%以上は自力で来ていることは素晴らしい。 ★自力登校を推進することで自力解決力の向上につなげたい。	3	○雨の日でも自力登校ができていることが素晴らしい。 ○90%以上というのは、先生方の努力の成果であると思う。 ○小学校でも車でくる子が多い。自力登校を推進してください。	3
				登下校時の安全	定期的な自転車生徒集会の実施、交通ルールの確認	登下校時のケガ0	2			△1・2学期は特に下校時の様子に課題があった。 ★3学期は時差下校にすることで、改善しつつある。	2	○工夫をしていただくことで、ケガをする生徒が減ることはよいことだと思います。	2
		保体安全		基本的な生活習慣を身に付ける	学期1回の健康チェック週間に重点指導と実態把握	・朝食摂取率100% ・串間メディア利用の手引きルール順守70%	2	4	4	△朝食摂取率(①96.1%②94.5%) △メディアルール順守(①48.3%②47.7%) ★チェック週間前の事前指導や、保体委員会の活動で啓発活動を引き続き行う。	2	○なかなか難しいですね。家庭の協力や保護者自身の理解が進むことを期待したい。 ○家庭ですべきことである。	2
				食と健康についての意識向上	「弁当の日」の事前指導(ねらい、意義)	・弁当の日(年1回) 一品でも自分でも作る生徒80%以上				○2/21(火)に実施。事前指導で弁当の日の由来など伝達した。 ○旬の地元食材を使ったレシピ紹介も行った。		○お弁当を自分で作った生徒がどれくらいいたのか知りたかった。	
ビジョン実現の向	健康と体力の向	⑨健康安全教育や食育の推進	保体安全	疾病予防	・フッ化物洗口を毎週水曜日実施予定 ・年3回治療勧告用紙配布	むし歯なし、治療済みの生徒90%以上	2			○おし歯なし+治療済み生徒 91.4%(330名)。 △治療率は10%未満。 △フッ化物洗口は未実施。 ★治療勧告を引き続き学期1回行う。 ★フッ化物洗口を来年度は実施予定。	2	○9割の生徒が治療済みというのは立派である。 ●中学校も実施しているとばかり思っていた未実施の理由が知りたい。 理由:本年度は、コロナ関係による未実施となった。 ○家庭ですべきこと。中学生は大人であ	2

上												る。 ●歯科が串間は少ないのも治療率の低下の原因では。	
		感染予防	・月1回(月末)に回収し ・提出状況の把握	・健康観察カードの提出率100%	2	4	4	●2学期から生活の記録への記入に移行。徹底できていない。 ★来年度の生活の記録に体温記入欄を設定予定。	2	○家庭ですべきこと。中学生は大人である。	2		
		定期的な安全点検の実施・改善	・毎月の点検簿の作成 ・生徒による点検	・安全点検実施率100%	3			○点検実施率は100%。 ○保体委員会の生徒による点検も毎月実施。 △改善修復をお願いしているが、なかなか実施されない状況。 ★点検・報告を引き続き行う。	3	○生徒の安全のための点検をお願いします。	3		
キャリア教育の実施	⑩ 人生の目的意識の涵養 ・企業ガイダンス、職場体験学習の充実 立志式の実施	教務	計画的なキャリア教育	年間計画に基づくキャリア教育の実施	学活の授業時数の確保100%	2		○学活の授業時数は100%以上の確保ができたが、キャリア教育の時数が十分ではなかった。 △キャリア教育の年間計画を作成する。	2	○将来の夢の実現ができる指導をお願いします。	2		
		進路企画	職業講和・企業ガイダンス 職場体験の充実	職業講話・企業ガイダンス、職場体験に生徒のアンケートを実施、地域学校共同本部と連携し生徒の希望の多い職種が体験できる「職場体験・企業ガイダンス」の実施	生徒の満足度80%以上	4	4	4	【1年アンケート結果】 職業講話…4…62.8% 3…28.3% 【2年アンケート結果】	4	○串間の企業は大変協力的だと思います。このことが地元に残る要因にもなると思います。	4	
		進路	立志式の実施	立志式後に生徒のアンケート実施	生徒の満足度80%以上	4			【2年アンケート結果】 立志式…4…58.8% 3…32.3% ○参観日と抱き合わせで行い、保護者も式に参加していただいた。将来を見据えて、志を高める良いきっかけになった。	4	●全員の作文が見たかった。 ○子どもの取組が実感できました。	4	
		生徒指導	生徒会活動の活性化	学期末に学校生活アンケートの実施	学校生活充実度80%以上	4			○「当てはまる」「やや当てはまる」と回答した生徒は90%であった。 △自尊感情を高める指導、思いやりの心を育てる指導、規範意識の向上に努めたい。	4	○期待します。	4	
		生徒指導	リーダー育成	学級3役や生徒会役員へのリーダー研修や部活動担当者との連携し、各部キャプテンの育成	学期3回	3			○定期的な集会や打ち合わせを通してリーダーシップの育成に努めてきた。 △指示が出なくても動ける力、言われたことに対して疑問をもつ力、代案を出す力を高めていきたい。	3	○役員の前向きな考え方や献身的取組は大いに評価してあげたい。 ○期待します。	4	

⑪小中高一貫教育の推進 ・出前授業や乗り入れ授業の充実	生徒指導	中高合同生徒会交流会	学期末に福島高校生徒会交流会を企画し、生徒会活動活性化や福島高校魅力発信の場を設定する	学期1回	4			○2月の作業部会で、中高合同生徒会の大きなテーマを設定し、そのテーマを実現させるために具現化した取組をしようとしている。3月末に実施するので楽しみにしている。	4	○楽しみです。 ○中高一貫教育の成果が期待できる。	4
	企画	第3学年の英語科・数学科の授業の充実	年間を通して乗り入れ授業を行いアンケートを実施	生徒の満足度(4・3評価)80%以上	4	4		○生徒満足度 1学期 英語92% 数学86% 2学期 英語79% 数学96% 3学期 英語94% 数学98%	4	○生徒満足度の高さはすごい。学習への積極性アップひいては学力向上への貢献度アップに期待したい。 ○生徒の満足度が素晴らしい。 ○大変素晴らしいと思います。	4
	教育環境	一貫教育補助金の申請と適切な運用	目的に応じた支出であるか確認		4			○目的に応じた支出内容であるかどうかの調整を行いながら執行できた。	4	○適切な運用をお願いします。	4
⑫郷土くしまに対する愛着と地域貢献の意識の高揚を図る ・くしま学の充実	進路	くしま学の充実	学期1回生徒へのアンケートを実施	生徒の満足度80%以上	3			【アンケート結果】 →4(27.2%)、3(53.8%)、2(13.3%)、1(5.6%) ○各学年で、地域と連携したくしま学を実施することができ、串間について深く考えるきっかけを設けることができた。	3	○自分が育った串間を知ること、考えることは素晴らしい。 ○くしま学は大変いいことなので今後も取組んでください。	4
	企画	「くしま学」の体験活動の充実	地域学校協働本部と連携した「くしま学」の実施		4			○「くしま学」計画的に実施できた。	4	○指導者に感謝します。	4